

あしながの

出前授業

生徒がテーマを自分事にできない

単なる調べ学習で終わってしまう...

社会課題と実践を結び付けたい！

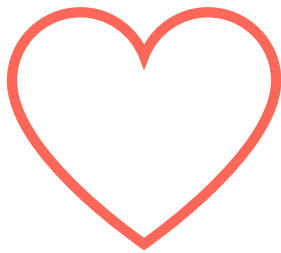
生徒が「知る」だけで終わらず考え、対話し、**実際の行動**につながる学習をサポートします！

4つのポイント



大学生が
企画・運営

年齢の近い大学生が熱意を持って伝えるので、生徒の心に響きます



社会課題を
「自分事」に

国内遺児・障がい家庭とアフリカ遺児の現状をお伝えします



対話と気づきで
主体性を育む

グループワークを通じて生徒の主体性や思考力を養います



実際の行動に
つなげる

希望者は街頭募金へのボランティア参加など次の行動につながります

あしながの出前授業の特徴



30分～時間の
相談可能！



オンライン
実施もOK！



講演料は
無料！



事前準備の負担
少なく実施可能！

あしなが学生募金事務局は学生主体で運営する団体です



日本国内の遺児・障がい家庭の子どもたちへの支援



アフリカ遺児支援
(サハラ以南49か国)



年2回の街頭募金の企画・運営

詳細は裏面をチェック！

あしながの出前授業について

あしなが育英会とは

日本国内の病気・災害・自死により親を亡くしたり、親に障がいがあり働くことが困難な家庭の子どもたちを奨学金や心のケアでサポートするほか、サブサハラ・アフリカの遺児たちの高等教育進学を支援する民間非営利団体です。全国のご寄付者(あしながさん)からのご支援のみで運営しています。

あしなが学生募金事務局とは

一般財団法人あしなが育英会の奨学金を利用する大学生とボランティア学生が中心となって活動する学生団体です。年2回(4月・10月)の街頭募金と、各種学校への出前授業を行っています。

実施できるテーマ ※詳細は事前にご相談させていただきます

日本の子どもと教育格差

身近にいる遺児たちの置かれている環境と教育を受けられない現実を、データと当事者の声から考えます。

世界の遺児と未来

アフリカ遺児の現状を知り、世界的な課題を「どこか遠くの問題」から「自分と関係ある問題」として一緒に考えます。

出前授業の流れ ※大まかな目安であり、ご希望に応じて構成を変えることも可能です

①導入・遺児たちの現状



団体・活動内容の紹介や国内外の遺児・障がい者家庭の現状を、データや当事者の生の声を交えながらお伝えします。

②グループワーク



身近な課題とつなげて考えるワークを行い、社会課題を「自分事」として捉える視座や多様な価値観を養います。

③全体共有・まとめ



グループの意見を共有し、今後の行動やそれぞれの学び・出前授業の感想などを整理してまとめます。

出前授業を受けた人の声 三重県某私立中高一貫校

募金活動の模擬体験で皆さんの真剣な表情に胸を打たれました。それぞれが歩んできた人生は違うけれど、「遺児を救いたい」という強い想いを感じました。私も「遺児を救いたい」という強い思いを持っている皆さんのように、募金活動に励んでみたいと思いました。そして、孤独を感じながら悩んでいる世界中の遺児が、一人でも多く救われることを願っています。(生徒)

あしなが学生募金の皆さんに実際に対面し、直にお話を聞かせていただくことは、生徒にとってボランティア活動を具体的に想像する非常に大きな指標になったと思います。実際に活動なさっている人と会い、話を聞いたことは、生徒たちの貴重な経験となりました。(教員)

街頭募金へのボランティア参加方法などはこちら→



出前授業のお申込みはこちら→

